

No.	作句年	部	俳句	季語	分類
7542	大正2年	新年の部	大字書き畢ンぬ御降晴れてあり	御降	天文
7543	大正2年	新年の部	神意苔青し若水くむ処	若水	人事
7544	大正2年	新年の部	初かまど夫の松柏を薪とす	初竈	人事
7545	大正2年	新年の部	我家の瑞氣墨の香匂ふ春	書初	人事
7682	大正3年	新年の部	初空を大にす神路山の杉	初空	天文
7683	大正3年	新年の部	若水や杉見る毎にぢゝが顔	若水	人事
7684	大正3年	新年の部	氏神の杉おろしの雪を鋤初め	鋤初	人事
7686	大正3年	新年の部	小松引く足の力よ腰の力よ	小松引	人事
7688	大正3年	新年の部	我影の顧盼を壁に冬ごもり	冬籠	人事
7759	大正4年	新年の部	雑煮ことし大嘗祭のある	雑煮	人事
7760	大正4年	新年の部	大雪の且よく燃ゆかまどの火	元旦	時候
7763	大正4年	新年の部	冬籠水を甘しと思ひけり	冬籠	人事
7830	大正5年	新年の部	神の國に我として生く初日かげ	初日	天文
7831	大正5年	新年の部	若水に山の高さよ笈鳴り	若水	人事
8055	大正6年	新年の部	第一の盃啖了る年男	年男	人事
8056	大正6年	新年の部	年男吾が候ふや竈の火	年男	人事
8214	大正7年	新年の部	若水に來去す兒らが顔よ	若水	人事
8215	大正7年	新年の部	南山を流るゝ水や歳旦	元旦	時候
8400	大正8年	新年の部	硯の海濶く一家の吉書哉	書初	人事
8401	大正8年	新年の部	山草は神代の草と覚ゆるよ	齒朶	植物
8403	大正8年	新年の部	我家の水音に年新た也	新年	時候
8605	大正9年	新年の部	初鶏に鋤鋤ばらの控へたり	初鶏	動物
8606	大正9年	新年の部	早梅の御題畏し鋤はじめ	鋤初	人事
8608	大正9年	新年の部	取あへず手毬つくべき場作れ	手毬	人事
8759	大正10年	新年の部	讀初の一章大御心かも	讀初	人事
8760	大正10年	新年の部	よみそめや物と相和す古机	讀初	人事
8761	大正10年	新年の部	讀初の子等ははや庭の凍に在り	讀初	人事
8762	大正10年	新年の部	神木立に吹雪も知らぬ畏さよ	初詣	人事
8764	大正10年	新年の部	蝶鳥の夢打破る工夫かな	雑	雑
8766	大正10年	新年の部	志す所をいはゞ桃の花	桃	植物
8767	大正10年	新年の部	蝶鳥と子等をはやしぬ松の内	松の内	時候
8769	大正10年	新年の部	よき人に日月遅し門の春	初春	時候
8918	大正11年	新年の部	元日も水鳥羽搏つ夜となりぬ	元日	時候